

様式第2号(第6条関係)

協働事業に関する企画書

団体名 ボランティアの止まり木

1 事業名	地区福祉講座
2 事業の詳細	1、平成26年3月16日と平成27年1月17日に開催したボランティア活動体験発表会をもとに、この事業を継続することでボランティアの連携の輪を広げたい 2、市内のボランティア活動団体等から5団体を選出 3、ボランティア活動の基本の講義 4、市内のボランティア活動団体・個人5グループにより活動体験発表と、講師による講評と参加者からの質問 5、発表グループの交歓会 6、その後の活動のフォロー
3 実施体制	ボランティアの止まり木の会員から、実行委員会を作り団体の選定、内容の確認、講師の選定及び調整を行う。 すでに25年度・26年度に経験しているので、経験を生かすとともに精度を上げていきたい
4 役割分担	【提案団体の役割】 講演会の企画と実行及び終了後のグループ間の交流の場の橋渡しの役割を行う
	【市の役割】 ボランティアの普及拡大の為のバックアップ
5 協働の効果	今までのボランティアの交流は活動分野間のみであったがこの講演会をスタートとして、幅広い分野との交流ができるようになるとともに、お互いを理解し、協力できるようになると思われる。また、シルバーから高校生までの世代間交流ができるきっかけにもなる。
6 事業のアピールポイント	幅広いボランティアの体験発表を聞くことにより団体間の連携と、世代間交流を促すことで、各グループの交流の輪を広げていく。